

平成 3 1 年度 国・県に対する要望事項



平成 3 0 年 5 月

本市の行政運営につきましては、日ごろより格別のご配慮をいただき、厚くお礼申し上げます。

特に、昨年度の要望に対しましては、能代港ビジョン懇談会やポートセールス検討会に参画いただくなど、能代港を活用した地域振興等にご尽力いただき誠にありがとうございます。

さて、本市では昨年度、今後10年間の新たなまちづくりの方向性を示す第2次総合計画を策定いたしました。本計画では、将来像を引き続き「“わ”のまち能代」とするとともに、市民一人ひとりが“こころ”、“からだ”、“もの”の3つの豊かさを実感できるふるさと能代を目指すこととしており、その実現のためには、本市の最重要課題である新たな産業と雇用の創出が急務であります。

この要望事項は、能代港や高速道路等の社会基盤を活かしながら、本市の特徴である再生可能エネルギーのまちづくり等と組み合わせることで、新たな産業と雇用の創出に資するものと考えております。また、市民の暮らしやすい環境を整えるうえでも大変重要な事項であります。

何卒、本市の事情をご賢察いただき、平成31年度の予算編成及び今後の施策展開に取り入れてくださるようよろしくお願い申し上げます。

平成30年 5月

能代市長 齊 藤 滋 宣

要 望 事 項 一 覧

- | | |
|------------------------------|-----------|
| 1. 能代港を活用した地域振興について | ……〔 継 続 〕 |
| 2. 県営土地改良事業の財源確保について | ……〔 新 規 〕 |
| 3. 「風の松原」等松林保全のための松くい虫対策について | ……〔 継 続 〕 |
| 4. 日本海沿岸東北自動車道の早期完成について | ……〔 継 続 〕 |
| 5. 県管理道路の整備促進について | ……〔 継 続 〕 |

〔 継 続 〕

建設部 港湾空港課

産業労働部 産業集積課、資源エネルギー産業課、産業政策課

能代港を活用した地域振興について

近年、能代港を取り巻く状況は大きく変化してきており、能代港が持つポテンシャルを最大限に発揮できる環境が整ってきています。

そのひとつとして、高速道路の開通が間近に迫り、それに合わせて港湾整備が進むことにより、県北地域や青森県、岩手県等からの物流拡大が図られ、それに伴う経済活性化の可能性が高まります。さらに能代火力発電所3号機の運転開始により、石炭運搬大型船の入港が頻繁になると見込まれています。これらに対応し、船舶の安全航行、安全な荷役、安定した物流を確保するため、能代港の港内静穏度及び水域施設の水深の確保が必要となります。

また、能代港は県北地域の観光資源へのアクセスが便利であることから、クルーズ船の需要がありますが、岸壁延長不足により、大型船が接岸できない状況にあります。一方、クルーズ船誘致に向けて県北地域が連携した観光メニューづくりや誘致活動、インバウンド受入体制の整備などの動きがあります。

さらに、能代市周辺をはじめとした秋田県沿岸地域では、大規模な洋上・陸上風力発電の事業化に向けた調査等が進められている中で、能代港は北日本の日本海沿岸地域の洋上風力発電建設の有望地の中心に位置しております。能代港に洋上風力発電建設のための港湾インフラやメンテナンス基地機能を集中的に整備することにより、国が目指す将来に向けての望ましい電源構成に貢献し、日本全体の電力の安定供給にも資すると考えます。

こうしたことを踏まえ、能代港を十分に利活用し、地域経済の活性化につなげるとともに、我が国経済の国際競争力向上に資するため、能代港の港湾計画を早期に見直し、下記について取り組まれるよう要望します。

1. 港湾機能の強化と利便性向上

- ・防波堤整備による港内静穏度の向上
- ・岸壁の耐震化と強度の向上
- ・多様なニーズに対応した付帯施設の整備

2. クルーズ船誘致のための環境整備

- ・大型クルーズ船対応岸壁の整備
- ・インバウンド対応の受入体制の整備・強化への支援



3. 洋上風力発電の建設及びメンテナンスのための港湾インフラの整備

【市担当部課 環境産業部 商工港湾課】

〔 新 規 〕

農林水産部 農地整備課

県営土地改良事業の財源確保について

本市において、基幹産業である農業の環境整備を図り、農家の労働生産性を確保するため、「県営ほ場整備事業」や「基幹水利施設の更新事業」等の県営土地改良事業が実施され、地方財政措置のある過疎対策事業債を活用し、県へ市町村負担金を支出しています。

平成30年度においては、本市が要望した事業費すべてが確保されたものの、これら県営事業に対する農林水産省の補助金（公共）の配分枠が少なかったことから、県では地元要望に沿いつつ計画的に事業進捗を図る観点から暗渠排水工など一部事業を他補助金（非公共）により実施することとしております。

こうした結果、本市においては非公共の補助事業となることにより、過疎対策事業債を活用できなくなり、市の財政負担が増大することになります。

ほ場整備については、30年度新たに1地区で調査計画を開始するなど、今後も高い需要が見込まれ、財政負担が増大することから、県営土地改良事業について、下記のとおり要望します。

1. 市町村負担に影響が出ないよう、農林水産省の農業競争力強化基盤整備事業補助金（公共）の予算を確保すること
2. 非公共の補助事業であっても、過疎対策事業債の対象とすること



【市担当部課 環境産業部 農業振興課】

〔 継 続 〕

農林水産部 森林整備課

「風の松原」等松林保全のための松くい虫対策について

本市を代表する地域資源である国内最大規模の海岸砂防林「風の松原」は、強風による飛砂から街や農地を守るために、藩政時代から300年にわたり先人のたゆまぬ努力によって植栽されてきた文化遺産であるとともに、「かおり風景100選（環境省）」等の権威ある6つの100選に選ばれるなど、やすらぎの空間としても広く市民や観光客に親しまれています。

「風の松原」やその周辺民有林の松くい虫対策については、国・県・市が連携しながら伐倒駆除、薬剤散布、樹幹注入等の対策を講じてまいりましたが、中核部分の被害が拡大したことに伴い、平成17年度から「松くい虫被害先端地域特別対策事業」により国費100パーセントで徹底した対策に取り組んでいただいております。

しかしながら、平成14年度をピークに減少傾向にあった被害量は、21年度から隣接する自治体も含め再び増加に転じていることから、市民の誇りであり宝である「風の松原」の保全を図るため、下記の事項について要望します。

1. 松くい虫被害先端地域特別対策事業の継続及び予算の拡充
2. 松くい虫被害防除の抜本的な対策と新たな防除方法の確立



（風の松原を守る市民ボランティア大会へ市民約560人が参加した清掃活動の様子）

【市担当部課 環境産業部 林業木材振興課】

日本海沿岸東北自動車道の早期完成について

日本海沿岸東北自動車道二ツ井白神ＩＣから大館能代空港ＩＣ間の整備については、早期に高速交通ネットワーク形成が図られるよう、平成２４年度より事業着手された「二ツ井今泉道路」と「鷹巣西道路」に加え、２７年度より事故対策として着手された二ツ井白神ＩＣ（能代地区線形改良）についても整備の促進を図り、早期に全線開通されるよう引き続き要望します。

また、今後整備が進められる能代港の利活用と県北地域の経済の更なる発展に向け、二ツ井白神ＩＣ～小繋ＩＣ（仮称）間について、交差点を含む道路の速達性や定時性、安全性の確保を可能とする整備を要望します。



県管理道路の整備促進について

国道１０１号は、能代市と八峰町、青森県を結ぶ幹線道路であり、通勤、地域間交流、物流、救命救急等を担う唯一の国道ではありますが、竹生天神前の急カーブが円滑な通行に支障をきたしている状況となっております。地域住民の安全を確保するため、平成２８年度より着手された「竹生バイパス」の整備促進を図り、早期に完成されるよう要望します。

県道西目屋二ツ井線は、能代市と藤里町を繋ぐ重要な生活道路であり、特に救急搬送路として主要な路線となっております。また、地域防災の機能強化、世界自然遺産白神山地へのアクセス向上など、地域経済の活性化を図るため「荷上場バイパス」の整備促進を図り、早期に完成されるよう要望します。

- ・ 国道１０１号 竹生バイパスの整備促進について
- ・ 県道西目屋二ツ井線 荷上場バイパスの早期完成について

